

みんなで守ろう地球と郷土

第142号  
令和5年9月1日

# えいれんジャーナル

(公財)福岡県地区衛生連合会報

発行  
公益財団法人  
福岡県地区衛生連合会  
福岡市東区馬出4-10-1  
ナースプラザ福岡内  
TEL 092-631-1154  
FAX 092-402-1688  
発行人 三浦 徳

この会報は再生紙を使用しています。

Email: fukuokaken.chikuren@grace.ocn.ne.jp

## 特集

### 第57回 環境衛生女性講座兼地区衛生組織指導者等研修会

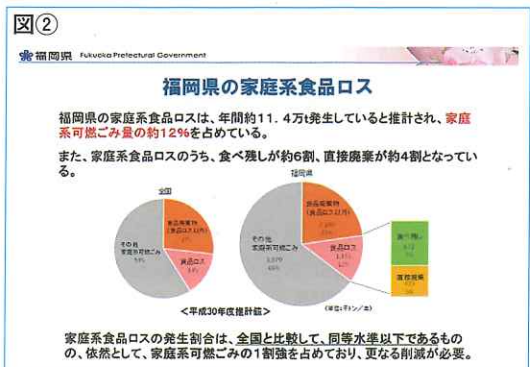
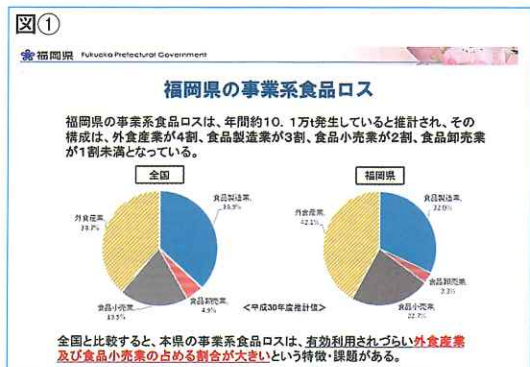
令和5年7月19日(水)、第57回 環境衛生女性講座兼地区衛生組織指導者等研修会を福岡市東区のナースプラザ福岡で開催しました。

この研修会は、地域住民の生活環境の改善向上と健康づくりに資するため、地区衛生組織で活躍されている女性、組織指導者及び衛生推進委員の資質の向上を図ることを目的に毎年開催しています。

今回は福岡県食品ロス削減マイスターの久保千景さんをお招きし、「もったいない！ できることから始める 食品ロス削減！」と題してご講演いただきました。

講演の概要…福岡県では、外食産業や食品製造業などから発生する事業系食品ロスが年間約10.1万t、各家庭から発生する家庭系食品ロスが年間約11.4万tと推計され、家庭系食品ロスの発生量の方が多いこと。また、家庭系食品ロスは家庭系可燃ごみ量の約12%を占め、その内訳は、食べ残しが約6割、直接廃棄が約4割となっていること等、食品ロスの現状について説明がありました(図①、②)。そして、この家庭系食品ロスの削減に向けて私たちに実践することができる取組についてお話がありました(図③)。

約100名の皆さんにご参加いただき、アンケートでは食品ロスの現状や食品ロスの削減に向けて自分たちがどのように行動すれば良いのか理解できたなどの意見が多く寄せられました。



- 図③ 【まとめ】できることから始めよう！食品ロス削減
- ▶ 食品ロスの状況や削減の必要性の理解
  - ▶ 食品ロス削減に取り組んでいる店舗や商品を積極的に利用
  - ▶ 期限表示を知る
  - ▶ 買い物時、調理時、食事時・外食時、片づけ時
  - ▶ ローリングストック
  - ▶ フードドライブに参加
  - ▶ お裾分けや持ち寄りランチなど
  - ▶ 周囲の方に伝える
  - ▶ 周囲や地域の方と、学習会やフードドライブを開催



## 福岡県環境部から

## 福岡県におけるプラスチック資源循環促進の取組

本県では、プラスチックごみ削減の重要性を訴え、県内企業のプラスチック代替品（紙や木などでできた弁当容器や、植物バイオマス为原料としたストローなど）をPRするため、小売・中食・外食業界を対象とした大規模商談展示会に出展しています。

また、飲食店のテイクアウト容器等を代替品へ切り替える店舗への補助を行うとともに、プラスチック代替品を紹介するパンフレットや啓発動画の作成、SNSや「エコふぁみ」アプリを活用した消費者への代替品使用店舗の利用促進を行っています。

このほか、プラごみ削減の取組を行う「ふくおかプラごみ削減協力店登録制度」、「ふくおかプラごみ削減キャンペーン」などを実施しています。

※プラスチック代替品紹介パンフレット、啓発動画紹介HP

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/prdthpf.html>

(右のQRコードからもアクセスできます)



## プラスチック資源循環に向けて、私たちができること

## ■ポイ捨て（不法投棄）をしない

## ■ワンウェイプラスチックの使用削減

きちんとごみを捨てた後でも、処理が終わるまでの間に処理ルートから外れることもあるため、ごみそのものを減らすことが重要です。

マイバッグ、マイボトルを持ち歩く、ストローやスプーンなどが要らないときは断る、詰め替えできる商品を選ぶなど、3Rにつなげましょう。

## ■ごみの分別を行う（リサイクルの推進）

ごみは生活していく中で不要となったものですが、「資源として活用できるもの」も含まれています。きちんと分別を行うことで資源はリサイクルされ、ごみの量を減らすこともできます。

## ■プラスチック代替品の利用促進

紙やバイオプラスチックなど環境負荷の低い素材を使用したものを選びましょう。

## ■ごみを拾う

マイクロプラスチックになると回収は困難ですが、マイクロプラスチックになる前であれば、回収は可能です。街中や河川、海岸等で清掃活動があれば、参加してみましょう。

## 海洋ごみを減らすためにできること

海洋ごみについて学べる動画を公開しています。福岡県の海の状況や海洋ごみはどこからやってくるのか、ごみを減らすためにできることなどを楽しく学ぶことができますので、ぜひ御覧ください。

※海ごみの発生抑制に係る啓発動画

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/umigomikeihatudouga.html>

(右のQRコードからもアクセスできます)



## 海洋ごみ問題について



福岡県環境部廃棄物対策課・循環型社会推進課

### プラスチック資源循環について

プラスチックは、加工のしやすさや大量生産が可能といった特性から、食品ロス削減やエネルギー効率の改善等に寄与してきました。

その一方で、不適正な処理により、毎年少なくとも800万トンものプラスチックが海に流出していると推計され、このままでは、約30年後の2050年には、魚よりもごみの量が多くなると言われるほど、深刻な問題となっています。

日本における一人当たりのワンウェイ（使い捨て）プラスチックの容器包装廃棄量は世界で二番目に多いとも言われており、これまで以上にプラスチックの国内資源循環を推進することが求められています。

### 海洋プラスチックごみ問題

海洋ごみは、海外から漂着するものもありますが、街や山などで不法投棄やポイ捨てされたごみが河川等を経由し、海に流れ着いたものが多くを占めています。

海洋ごみの中で最も多いのが、食品や飲料の容器包装、釣り糸、たばこのフィルターなどのプラスチック製品です。海洋プラスチックごみの約8割は陸域で発生したものとされています。プラスチック製品は人工的に製造されたもので、自然分解されるまでに100年以上の長い期間を必要とします。



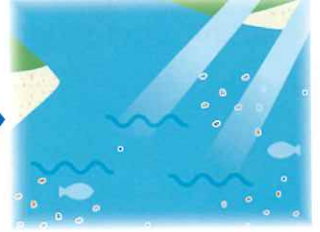
ポイ捨てにより  
ごみ散乱



風雨により水路や  
河川に流入



やがて海へ流出



紫外線や波等により  
微細片化

### 海洋プラスチックごみを与える影響

海鳥や魚などの海洋生物がプラスチックごみをエサと間違えて食べてしまう事例が報告されています。他にも、海中に漂うごみが船舶に絡んで航行に支障をきたす、景観悪化や悪臭等により観光資源が損なわれる等の影響が出ています。

また、マイクロプラスチック（※）を食べたプランクトンを小魚が食べ、中型の魚が小魚を食べ、大型の魚が中型の魚を食べ、大型の魚を私たち人間が・・・というように、食物連鎖を通じて、私たち人間がマイクロプラスチックを食べてしまうことも考えられます。体内に取り込まれたマイクロプラスチックが私たちの体にもどのような影響を及ぼすのか、その多くはまだ解明されていません。

（※）マイクロプラスチックとは・・・

製品や製品原料として製造されたマイクロビーズ等のプラスチック製品や、紫外線による劣化や波等に砕かれたプラスチック製品など、大きさが5mm以下のプラスチックのことをマイクロプラスチックと言います。マイクロプラスチックは一度海へ流出すると、回収は困難になります。

活動状況(上期)

令和5年度 理事等名簿

(令和5年6月27日現在)

役職名	氏名	地区組織名
理事長	三浦 徳	筑 後
副理事長	魚住 隼人	直 方
〃	柴本喜久男	久 留 米
常任理事	野村 秀男	大 牟 田
〃	安部 勝洋	宮 若
〃	石崎 達雄	嘉 麻
理 事	尾畑 吉彦	朝 倉
〃	平田喜寿児	大 刀 洗
〃	三善 富夫	う き は
〃	添島 元紀	大 川
〃	中川 辰藏	柳 川
〃	南野 隆重	大 任
〃	高崎 一男	遠 賀
〃	船津 孝	福 岡 県
常務理事	石橋 浩一	事 務 局
監 事	熊野 君男	
〃	原田 賢二	

令和5年度 評議員名簿

(令和5年6月27日現在)

	氏名	地区組織名
評 議 員	横溝 寿夫	久 留 米
〃	中村敬一郎	朝 倉
〃	堀 修	大 川
〃	野口 貴光	柳 川
〃	牛島美都香	筑 後
〃	関岡 雄二	宮 若
〃	高橋 賢志	岡 垣

- ・河川浄化 広報運動
- ・石けん、洗剤 適正使用対策
- ・環境教育 (水辺の教室等)
- ・生活雑排水浄化運動
- ・河川敷クリーン運動
- ・下排水路清掃運動
- ・不法投棄防止運動



〇目的  
地域住民の自主的な実践活動によって、きれいな川を取り戻すことにより、生活環境の改善向上に資することを目的とする。

〇実施期間  
前期…6月1日～30日

河川浄化運動強化月間(前期)

〇目的  
空きかん・空きびん等の散乱防止のための啓発及び回収運動の展開により、住みよい生活環境づくりを推進することを目的とする。

〇実施期間  
8月1日～31日

空きかん散乱防止強化月間



- ・投げ捨て防止の啓発、モラルの向上
- ・地域清掃活動の推進
- ・3R(ごみの発生抑制・再利用・再生利用)の推進

令和5年度 賛助会員(指定業者)

防疫用殺虫剤、殺鼠剤  
アースミラブ発砲剤  
水切りネット  
メッシュ回収容器等

ヨシタケTS株式会社

代表取締役社長 吉武 昭三

〒811-1314 福岡市南区の場2-22-20  
電話(092)582-2451

防疫用薬品、環境保全商品、粉石けん  
上記に付随して看板の販売  
コロナに対応して消毒薬、マスク等  
簡易型避難用テント等の販売

株式会社アラキ

代表取締役 松岡 良幸

〒830-0063 久留米市荒木町荒木1964-15  
電話(0942)27-2659

紙製水切り袋(生ごみ減量、脱プラ啓蒙商品)、  
雑紙袋、不燃物回収用袋(ビカンパック)  
ゴミ袋、カラス除けネット

ネクスタ 株式会社  
九州営業所

営業所長 森口 文敏

〒811-2503 粕屋郡久山町猪野884-1  
電話(092)976-2211